

みかん狩り - 援農の試み - に参加しました

広島大学マスタース会員 山本義雄

2007年12月17日、「みかん狩り - 援農の試み」に行ってきました。 広大生協の学生組織から13名の学生が参加、マスタースからは岡本、安藤、山本の3氏が加わりました。

12時に大学会館前を4台の車に分乗して出発し、昼食は蜜柑園の所有者平山さんのご好意で、おにぎりと味噌汁、焼き牡蠣などをいただいた後、13時45分ころから作業にかかりました。現場の蜜柑園は山の頂上付近にある急傾斜地で、収穫放棄されたみかんの木が30本くらいありました。15時30分に別の蜜柑園に移り17時ころに作業を終了しました。収穫したみかんは全部で約20箱くらいでした。

作業に参加した一人として感じたことは、われわれマスタースの会員だけでこのような作業は無理であると思いました。傾斜地での作業はかなりの重労働です。若い学生さんの労力がなければできない企画だと思いました。



収穫作業を終えて氣勢のあがる「みかん狩り」の参加者たち